

民主戸田

No.1885
2025年3月30日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議団ホームページ
QRコード
※市議団HPは現在
更新準備中です

来年度からの小学校の給食費無償化を 本田議員 総括質問で市長に求める



3月5日、日本共産党戸田市議団を代表し、本田哲議員は菅原市長の2025年度施政方針に対する総括質問を行いました。

党市議団は、昨年10月に菅原市長に「2025年度予算・市政運営の要望書」を提出しました。25年度の一般会計・特別会計の合計額は過去最高額となり、市税は前年度比2・7%増など、安定した税収を見込んでいます。24年度一般会計補正予算では、財政調整基金に約38億を新規積み立てました。市の豊かな財政を活かした物価高騰対策の実施や施策の充実を求めました。以下、質問の要旨を紹介します。



が、子育て世代の負担軽減につながる予算化は大いに評価する。小学生の無償化も、26年度から実施すべき。

(答弁) 現在、政府において小学生の無償化の議論が進められており、26年度に実施予定とのことから、動向を注意深く確認していく。

(本田) 民間児童保育室の医療的ケア児の受け入れに関する補助制度の内容は。

(答弁) 受け入れには事前十分な環境整備が必要となることから、国・県の財源も活用し民間児童保育室への補助金の充実を図る。

(本田) 市民医療センターで小児頭痛、起立性調節障害などの小児専門外来予約枠の拡大について大いに評価する。小児神経外来の予約枠拡大の声も多く寄せられている。拡大への考えは。

(答弁) 担当医師の勤務体系などから、現時点では見込みが立っていない。今後の予約枠拡大に向け引き続き検討していく。

(本田) 戸田市スポーツセンターの建て替えの基本構想と進捗状況は。

(答弁) 24年度から25年度までの2年間で基本構想の策定を進めている。ニーズ調査や関係団体へのヒアリング等を実施し、課題の整理を行っている。本市におけるスポーツ推進の拠点として、より多くの市民に利用いただけるよう、機能的で利便性の高い施設の検討を進めていく。

(本田) 東部福祉センター内に設置される学習支援拠点の運営は。

(答弁) 事業者への委託を予定。専門性と実績を兼ね備え、アウトリーチや児童・保護者に寄り添ったきめ細やかな相談援助等ができる事業者を選定していく。

(本田) ①警告アナウンス付き自動通話録音装置の無償貸出、②自宅用防犯カメラの設置等の防犯対策の取り組み内容は。

(答弁) ①特殊詐欺対策として、日中、主に65歳以上の方のみが在宅となる世帯へ、自動通話録音装置は無償で200台貸し出し予定。②居住する戸建て住宅

に防犯カメラ、玄関ドアや窓用の補助錠などの防犯設備を購入・設置する市民を対象に、購入費用の2分の1を、上限額2万円の範囲で補助をする。

(本田) 戸田市市営住宅長寿命化計画の改定内容は。

(答弁) 現在の計画が26年3月に満了となり、次の10年を計画期間とする改定作業を行う。全8棟の市営住宅を確認・調査し、法令改正等に伴う整備水準の見直しや適切な修繕周期の再設定など、修繕・改善方針を改める予定である。

(本田) 3つの福祉センターの再編方針策定と西部福祉センターの再整備基本構想策定の基本的な考えは。

(答弁) 施設の老朽化、利用者が減少していることから



戸田市議会3月定例議会 一般質問

3月定例議会的一般質問が、3月14・17・18・19日の4日間で行われ、日本共産党戸田市議団は、市民要求実現に向け3人が一般質問をしました。各議員の質問の要点は次ページの通りです(詳細2面、質問通告順)。

ら、施設全体の再編を検討している。最も早く建築された西部福祉センターについては、再整備に向けた基本構想を検討。今年度から2か年に渡って市民ワークショップを開催し、子育て世代や高齢者など様々な世代から、多様な意見をいただきながら検討を進める。

(本田) 再生可能エネルギー設備、省エネ設備の補助金の利用状況は。予算を増やし広く推進を図るべき。

(答弁) 補助金ごとに執行率の高低に大きく乖離がある。25年度は、「ゼロカーボン推進補助金」と統合し、同補助金制度に再生可能エネルギー設備、省エネルギー設備を集約し、需要に応じた補助金の交付を可能とする体制を構築する。

戸田市議会3月定例議会

市民要求実現へ

党市議員 一般質問おこなう

物価高騰対策を

むとう葉子議員

(むとう) 市民生活や事業者への物価高騰に対応した支援が必要。①上下水道料金基本料金の減免②敬老祝い品の増額③運送業者に対するガソリン等の補助④保育園・幼稚園の給食食材費の支援⑤子どもの居場所事業(ボランティア団体)に対する支援を。

(答弁) ①減免実施は困難②高齢者施策全体のバランスを考えたが検討する③県がガソリン代の補助を実施する予定④県が保育所等に対する食料費や光熱費の補助を行う予定⑤子どもの居場所ネットワークで企業と団体との橋渡しを行う。

地域公共交通における利便性の拡充を

(むとう) 24年度、地域公共交通計画をつくるために3回の協議会を行い、市民アンケートやビッグ

データの分析をしている。3回目の協議会において、課題における解決策が定まっていらないことから計画の延長が決まった。①運転手不足を解消するために運転手の処遇改善や免許取得に対する補助金を②要望が強いトコバスの逆回り運行と高齢者や障がい者に対する運賃無料化を③高齢者による交通事故を防ぐため、免許自主返納に対する支援を④高齢者や障がい者、妊産婦にタクシーの初乗り料金チケットの配布を。(答弁) ①運転手不足解消として、これまでも実施

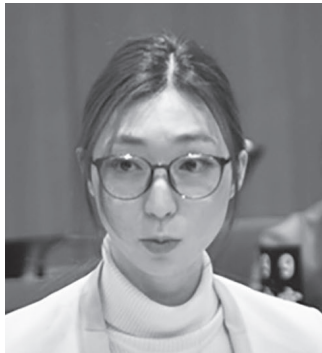
してきた。国土交通省でも免許取得に係る費用と人材確保セミナーを実施している。市独自の支援は協議会の論議を参考に検討する。②逆回り運行は実施困難。運賃無料化については慎重に判断する。③自主返納の方に理由を聞くと、特典と免許証を手放すことが繋がっていない。④は考えていないが、近隣自治体を参考に検討する。

(むとう) トコバスの逆回りや高齢者、障害者の運賃無料化が整っていないのであれば、妊産婦を含めたタクシーの初乗りチケット配布を考えるべき。交通弱者の声が計画に反映されることを要望する。

動物愛護充実を

花井あきこ議員

(花井) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の補助金の現在までの実績は。年度途中で予算を超える申請があつた場合、それに対する柔軟な考えは。また、26年度の予算の増額を。



(答弁) 24年度は12月末時点でメス30頭、オス37頭、合計67頭である。予算を超える申請が続く場合は、対応の必要性について慎重に見極める。予算については23年度に増額を行っているが、今後の申請件数や予算の執行状況を注視し、バランスの取れた予算の計上に努めていく。

投票所の再整備

(花井) 美女木2丁目会館の投票所を廃止した経緯は。美女木2丁目会館の投票所の再設置を。

(答弁) 投票所の環境が手狭になったことや駐車場を確保できない等の問題により、投票区内における投票所位置の地域バランス等も考慮し美女木小学校に変更した。再設置に関しては運営経費の増額が見込まれることから再設置は困難。

デジタル教育

(花井) 保護者からタブレット(パソコン)使用について、視力の低下、集中力の低下、授業中のタイピングゲーム、自宅でのYouTube視聴、チャット等の使用で不特定の人と接触するリスクを危惧する声が届いている。どのように対策を取っているか。

(答弁) 教育上不適切だと判断されるサイト等へは、フィルタリング機能により市で一括してアクセス制限をしている。これらのサイトやアプリは日々変化しているため、学校とともに日々苦慮している。他にもデジタル・シティズンシップ教育を企業等の知見を活かし推進している。端末は家庭でも使用することから、保護者の理解・協力も

いただきながら進めている。(花井) 視力低下等対策としてブルーライトカットフィルムを装着してはどうか。

(答弁) 現段階では、導入する予定はない。

(花井) 学習以外での利用

に、どのような対応をしているか。

(答弁) 授業中は個別に対応している。家庭での利用についてはガイドラインを作成し、年度初めに家庭でのルール作りについて周知している。また、家庭での様々な要望については、個別に対応する場合もある。

グローバル教育

(花井) 文科省はグローバル人材育成推進を目指しているが、本市のグローバル教育推進の取り組みは。

(答弁) 国際社会で活躍できるとだつ子育てに向け、各教科等を通じて取り組んでいる。小・中学校9年間の英語教育で豊かな国際性を身につけた子どもの育成を目指し、全小・中学校にALTを配置している。

(花井) 戸田市にも様々な国の子どもたちが在籍している。英語学習のみでなく、日本の文化も大切にしながら異なった文化や価値観を受け入れ、子どもたちに偏見、差別が生まれないよう導いてほしい。

※本田哲議員の一般質問は次号に掲載します。